

# 市政を問う!

## 17議員が登壇 (一般質問)

### 阿蘇市の財政について



高宮 正行

**高宮** 住民に直結した社会資本の整備がされてきたが、連結決算における起債残高を伺う。

**宮崎財政課長** 二十五年度見込みで、一般会計百六十九億円、連結で二百三十八億円です。

**高宮** 一般会計の百六十九億円の中に合併特例債の含まれる額は。

**財政課長** 起債百六十九億円のうち、約六十億円が合併特例債です。

**高宮** 百六十九億円起債残高に対し、地方交付税算入額は。

**財政課長** 約六十パーセントから七十パーセントが地方交付税に算入されます。

**高宮** 今後、起債残高及び起債の償還はいつ頃がピークか、またその額は。

**財政課長** 予測でピークが平成二十七年か二十八年ぐらいで、額で百八十億円ぐらいになると思われます。償還額は、平成三十年から三十一年がピークとなり、元利合計十七億円

ぐらいになります。合併特例債の五年延長で、平成三十一年まででありますがその後の運用が課題であります。  
**高宮** 阿蘇市の人口は、合併後二千人以上減少しているが、地方交付税への影響は。

**財政課長** 人口が減ればその分交付税が減ります。大きいのは税収の減額です。

**高宮** 合併特例が十年で廃止であるが、交付税の算定替えて、何年で総額いくら減額されるか。

**財政課長** 五年間総額で、二十八億円から三十億円減額されると思われま

**高宮** 直営施設の民営化を行ってきたが、更なる財政需要額の縮減に努力する必要があると思うが。

**財政課長** 今後、事業の総点検が必要と考えています。



本年4月より民間委託になった阿蘇給食センター

# 内牧・黒川千丁線・災害避難道路前進



田中 弘子

**田中** 内牧、黒川千丁線、災害避難道路の計画案の説明を。

**伊藤土木部長** 平成24年7月の災害に伴い、非難道路建設を進めていく事になり、平成25年度から測量設計を実施して来ました。計画地域の地盤が良くないことが判明したためこれから設計工法を検討してまいります。完成には、5年から10年の工期を予定しております。

**田中** 滝室坂トンネルが完成すれば、通称8m道路から内牧温泉に入り込み、商店街の活性化にもつながるのではと思うが。

**土木部長** 避難道路建設が第一の目的ですが、観光面でも効果をもたらさし、入り込み客の増加に繋がれば良いことだと考えます。断面は、道路部8m、両側歩道、また場所によっては両側に農業用の側道がつくため、全幅約30mほどになる箇所もあります。観光面でも活かせるのではないかと期待しております。

## 阿蘇医療センター関連について

**田中** 新阿蘇医療センター開院及び院長決定について

**井野中央病院事務局長** 病院建設も工期が延長した理由ですが、腐植土の地盤改良で約1ヶ月、全国的な建設技術者の不足が原因で約2ヶ月工期の延長になりました。8月6日の新病院開院に向けて、今回事業管理者になられた甲斐院長を先頭に病院職員一丸となつて万全の体制をとつていこうと思っております。院長決定につきましては、熊大病院の推薦で平成23年4月から当院に非常勤で来て頂いていました甲斐豊先生に、市から就任をお願いし、1月1日付けで院長に就任していただきました。ご専門が脳神経外科ですので、阿蘇医療圏域の急性期の脳疾患治療に貢献して頂きたいと思っております。

## 農業委員女性参画について

**田中** 農業委員女性参画が成立(議会推薦枠)、正式に次回からということだが。

**石寄農業委員会事務局長** 阿蘇市においても男女共同参画に取り組んでいますので、女性農業委員さんが少しでも早く誕生するよう努力して参りたいと思います。

# 保育行政及び有害鳥獣対策について



市原 正

**市原** 国内有数の観光地である阿蘇で、観光業に携わつておられる市民の方も多くいらっしゃる。その方々からの声に、日曜保育の必要性があると思うが、その現状把握は出来ているか。

**山口福祉課長** 平成27年度から子ども子育て支援制度が施行されますが、これに併せて阿蘇市では、26年度上半期までに、ご質問の日曜保育を含む子育て環境の施策について計画書を策定することにしており、今年度その計画書のベースとなる管内対象児童の保護者へのニーズ調査を行いました。今後、この結果を阿蘇市子ども子育て会議にお諮りし、市長への答申、そして計画書作成となりますので、ご質問の日曜保育につきましては、今後その方向性に沿つて事務を進めたいと思います。

## 有害鳥獣対策について

**市原** 有害鳥獣対策については、農政問題の中で大きなウエイトを占めてくると考えられるが、捕獲奨励金について県からの予算増額等について、詳しい説明を求めます。

**本山農政課長** 近年の野生鳥獣の個体数増加により、非常に被害が深刻化、広域化していることを受け、国が25年から27年までの3年間、集中的かつ効果的対策を講じようと、国の支援で県が基金を造成し、各市町村の取り組みを支援する新たな事業が出てきたことから、阿蘇市としてもこの事業に取り組むこととし、従来奨励金に各8千円をプラスし、集中的捕獲をするものです。既に猟友会の方々との協議も終わっております。



山田保育園

# 阿蘇市の財政状況について



谷崎 利 浩

**谷崎** 平成26年度当初予算の起債が14億円で、返済を1億7千万円上

回っている。毎年14億円の起債を続けければ、市債残高は減らない計算になるが。

**宮崎財政課長** 27年度起債を15億円、28年度から31年度までを13億円

とすると、27・28年度が残高のピークで、180億円くらいです。

**谷崎** 臨時財政対策債（以後、「対策債」という）は、平成13年に2億

円だったものの24年度までに残高が56億円と急激に増えているが。

**財政課長** 対策債は、平成13年度

に始まりました。もとは国の交付税の総額が足りない分の半分を地方で借り入れてもらって、後で交付税として100%戻すというものです。

ここ数年は、交付税が17兆円台になり、対策債は年6億円強で横ばいです。

**谷崎** 国のプライマリーバランス

では、20兆円の不足があり、交付税を16兆円とすると交付税を全部カットしても追い付かない。国に対策債分を返す財源の余裕はないのではないか。

**財政課長**

対策債の場合は、国の財政が一時的に厳しいので、地方に借りて頂いて、数年間に亘って返すもので、あくまでも交付税に100%借置があるものです。国の制度に沿った形で運用しております。

**谷崎**

合併11年目から交付税が減額される。これに対応するための収入増加については、この10年間どのように取り組んできたか。また、経費を削るばかりでなく、収入額を増やすため地場産業の育成を含め、今後どう考えていくのか。

**財政課長**

自主財源3割の自治体において、いきなり税收を上げるのは、なかなか難しい問題です。支出において国の補助金活用を年度の一番の課題とし、国の補正予算や様々な施策が打ち出された時点で、阿蘇市として早急に取り組むべき事業を優先して実施してまいりました。収入増額では、徴収率の強化を含めて、人口の問題も各収入関係に影響しますので、関係各課連携して、取り組んでまいります。

# 阿蘇市に積雪計の設置を



阿南 善 範

**阿南**

2月13日の夜、阿蘇市は数十年ぶりの積雪となった。瀬田までは雨だったが、黒川地区では30センチ、波野の多い所は60センチに達し、通行止めなども各所で起こった。雪の多い地域では積雪計が取り付けられ、通行する車両等が通行の目安にする場合も多いと聞くと、阿蘇市では積雪計を取り付ける意思があるのか。

**高木総務課長**

阿蘇市は、南国九州に位置しており、気象庁においても阿蘇山上以外には積雪計は取り付けられておりません。今回、数十年ぶりの大雪となりましたが、独自の積雪計の設置は考えていません。

**積雪被害の状況について**

**阿南**

今回の積雪で、特に波野地区でビニールハウスとか樹木が被害を受けた。被害状況と今後の対応は、

**本山農政課長**

ビニールハウスが77ヶ所217棟、被害額は約1億円、畜舎等の被害も含め合計で、126ヶ所282棟、被害総額として約2億

**東北震災被災者の受け入れについて**

**阿南**

平成24年7月12日の豪雨災害では、阿蘇市でも多大な災害を受け、復旧復興に取り組まれたが、東北の災害は未だ道半ばの有様である。阿蘇市の応援体制は？被災者の受け入れについては十分に検討して対応してほしいと思うが。

**総務課長**

東日本大震災に際し、阿蘇市では、平成24年4月以降12月まで熊本県の復興支援チームとして34名を派遣、被災者受け入れについても、4月から8月まで1家族3名の受け入れを行なってきました。今後においても、申し出があれば、市営住宅等において受け入れ予定です。



波野地区森林被害